井「纏めて會社の都合に依りとして二千なり三千なり解雇した方がよいてはありませんか」

松「おれはそうは思はぬ」

井「然し怠け者と銘打つて出されては忽ち糊口に窮するてはありませんか」

松「只よかれかしと思つて爲た事がお前等の氣に食はぬのだから仕方がない」

新「會社の都合としても願書は受付ぬし又家事都合と會社の都合とに理由して受付ぬが私は家事都合は勤務する方がよいのてす」

松「皆お前達の爲めよかれかしと思ふからだ」

井「掛長の勸告や報告は誠意がないからだ社長に直接お願ひしに來るのてす」

梅「上に立つ人が個性にのみ左右せられると下の者は迷惑します」

松「有難ふ」

財團法人協調會大阪支部